

悉皆金色



「悉皆金色の願」

阿弥陀如来の四十八願の第三願は「悉皆金色の願」と言い、「我れ仏を得たらんに、國中の人、天、ことごとく真金色ならずんば、正覚を取らじ」と願われています。

金銀銅。一番強いのが金メダル。一番高いのは金貨。一番大切なのが金の指輪。では、お浄土に生まれる私達は、一番にならなければ往生できないのでしょうか。往生したら一番になるのでしょうか。

金なのか銀なのか銅なのか。比べているのは私達です。区別のない、平等な、分別のない阿弥陀さまの眼差しは、私達すべてが夫々に一番に金色に輝けることを見抜いてくださるのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭現下のご染筆です。前々号の色紙は、北海道茅部郡在住新山徳次様に進呈します。ご希望の方は八力まで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。